

愛知県創生研鑽会
【Dグループ】

地元企業×家庭みんなで育てる ファミリーサポート事業の新たな展望

～子育ては3楽（楽しい、楽して、楽園）安心して子育てを!!～



トヨタホーム名古屋株式会社
池戸 よしみ



株式会社ATビジネス
舟橋 亜季



キムラユニティー株式会社
栗木 秀幸



生活協同組合コープあいち
庄田 幸平



東京海上日動火災保険株式会社
早川 紫生里



名古屋大学大学院環境学科研究科
山崎 泰雅

出生率の現状

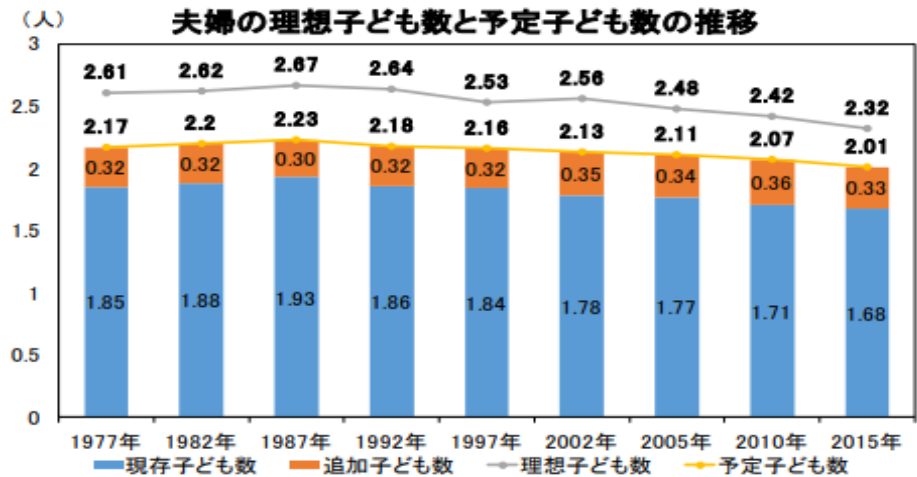
全ての都道府県で2022年よりも**出生率が低**なっています。
厚生労働省の2023年のデータによれば、愛知県は1.29で過去最低の数値となっており全国で25位、隣の岐阜県・三重県も同じような状況で**東海3県とも過去最低の数値**になりました。
また、どの年においても一貫して、**理想子ども数と予定子ども数には差がある**ことがわかります。

①都道府県ごとの出生率

都道府県	合計特殊出生率(2022年)	合計特殊出生率(2023年)	都道府県	合計特殊出生率(2022年)	合計特殊出生率(2023年)	都道府県	合計特殊出生率(2022年)	合計特殊出生率(2023年)
北海道	1.12	1.06	石川県	1.38	1.34	岡山県	1.39	1.32
青森県	1.24	1.23	福井県	1.50	1.46	広島県	1.40	1.33
岩手県	1.21	1.16	山梨県	1.40	1.32	山口県	1.47	1.40
宮城県	1.09	1.07	長野県	1.43	1.34	徳島県	1.42	1.36
秋田県	1.18	1.10	岐阜県	1.36	1.31	香川県	1.45	1.40
山形県	1.32	1.22	静岡県	1.33	1.25	愛媛県	1.39	1.31
福島県	1.27	1.21	愛知県	1.35	1.29	高知県	1.36	1.30
茨城県	1.27	1.22	三重県	1.40	1.29	福岡県	1.33	1.26
栃木県	1.24	1.19	滋賀県	1.43	1.38	佐賀県	1.53	1.46
群馬県	1.32	1.25	京都府	1.18	1.11	長崎県	1.57	1.49
埼玉県	1.17	1.14	大阪府	1.22	1.19	熊本県	1.52	1.47
千葉県	1.18	1.14	兵庫県	1.31	1.29	大分県	1.49	1.39
東京都	1.04	0.99	奈良県	1.25	1.21	宮崎県	1.63	1.49
神奈川県	1.17	1.13	和歌山県	1.39	1.33	鹿児島県	1.54	1.48
新潟県	1.27	1.23	鳥取県	1.60	1.44	沖縄県	1.70	1.60
富山県	1.46	1.35	島根県	1.57	1.46			

出典：厚生労働省合計特殊出生率2023年度資料より作成

②夫婦の理想子ども数と予定子供数



出典：国立社会保障・人口問題研究所「出生動向調査（2015）」より作成

- 何故、**出生率の低下**に歯止めが掛からないのか？
- 何故、危機的な状況だと認識していながらも**出産する考えにならない**のか？

子育てに対して**マイナスイメージ**があるから？



『**マイナスイメージは何なのか？**』
そこを突き詰めれば子育てに対するイメージも良くなるはず。

産めない理由は？

経済的理由・時間的理由・社会環境・仕事に影響？！

産めない理由の仮説：

競争社会が激化する世の中、習い事など“教育にお金がかかり過ぎてしまう”**経済的な理由**で理想の子ども数を望めないと考えました。
そのことを立証するため、子育て中の男女40名に対してアンケートを実施しました。

アンケートの実施

アンケート
最短1分！ご協力お願いします！！

いつもお世話になります。
愛知県の地方創生に関する取組みの一つに【安心して産め・出産・子育てが出来る環境づくり】について取り組んでいます。
是非、皆さんの貴重なご意見を頂ければ幸いです。よろしくお願いいたします。

(1) ご年齢を教えてください
○ 20代 ○ 30代 ○ 40代 ○ 50代

(2) お子様の年齢を教えてください
① 第一子：○ 幼児 ○ 小学 () 年 ○ 中学 () 年 ○ 高校 () 年
② 第二子：○ 幼児 ○ 小学 () 年 ○ 中学 () 年 ○ 高校 () 年
③ 第三子：○ 幼児 ○ 小学 () 年 ○ 中学 () 年 ○ 高校 () 年
④ 第四子：○ 幼児 ○ 小学 () 年 ○ 中学 () 年 ○ 高校 () 年

(3) 理想の子ども数は何人ですか？
() 人

(4) 理想と実際のお子様の人数の差がある理由は何ですか？
○ 経済的理由
○ 時間
○ 子育ての社会環境が心配
○ 仕事に影響
○ その他 ()

(5) 近い家や教育費に月いくら使っていますか？
() 万円

(6) 実家は近いですか？
○ はい () km圏内 ○ いいえ

(7) 実家に利用して助かった制度がありますか？
○ はい ○ いいえ

(8) 子育てしながら働いている事があればご記入ください

アンケートにご協力頂き、ありがとうございました。

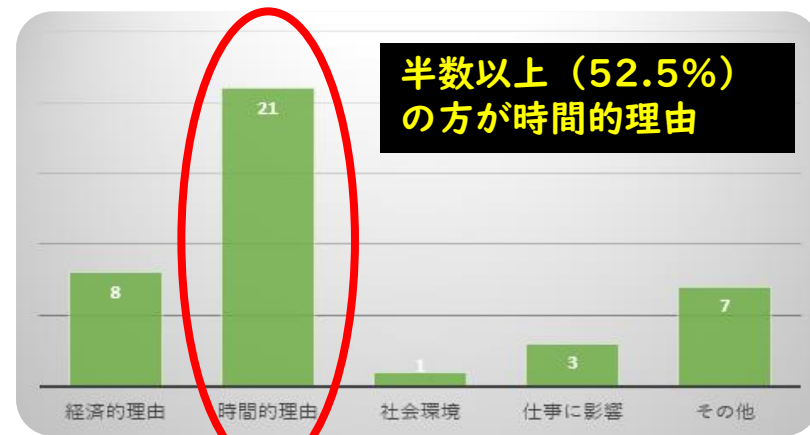
アンケートの結果

Q.理想と実際のお子様の人数の差がある理由は何ですか？

経済的理由	8人
時間的理由	21人
社会環境	1人
仕事に影響	3人
その他	7人
合計	40人

【アンケートで出された主な意見】

- ・教育費はおよそ1万円も掛かっていない。
- ・まだ子供が小さいので習い事はやっていないので、教育費はありません。
- ・実家が近いので困った時には親に見てもらえます。
- ・とにかく子育てしていると時間がないように感じます。
- ・理想よりも実際に産んだ人数の方が多いです。旦那が希望していました。
- ・仕事を再開してしまったので、もう子供をつくる気はないです。



理想の子ども数が産めない理由とは？！

アンケート結果からは『**時間的理由**』で困っている方が多いことが判明しました。

愛知県と他県との比較を行い、RESASデータで得られた愛知県の上位・下位のデータ、および合計特殊出生率と相関関係が高いデータを基に、**産めない理由について再度仮説を検討しました。**

項目名	愛知県の数値	愛知県の順位
目的変数 合計特殊出生率（総数）	1.35	26
① 財政力指数（全国平均＝100とした指数）	178	2
女性の有業率と育児をしている女性の有業率の差	-14.38	44
15歳未満人口1人あたり児童福祉費 （全国平均＝100とした指数）	65.3351	46
② 15歳未満人口1人あたり教育費 （全国平均＝100とした指数）	62.3804	45
↓相関係数が高いデータ		
未婚率（男性）	49.93	27
③ 未婚率（女性）	35.67	41
平均初婚年齢（男性）	30.7	18
平均初婚年齢（女性）（2021）	29	33

出典：RESAS「人口の自然増減」
より作成

①財政力指数

⇒愛知県の財政力は**全国2位**で高い。

②15歳未満人口1人あたりの教育費

⇒**全国45位**。教育費はそれほど掛かっていない。

③未婚率（女性）

⇒**全国41位**。女性の結婚率は全国で比較すると高い。



RESASの統計からも、
**経済的理由や未婚であることが
出生率が低い原因ではないことが判明しました。**

WEBアンケートの実施

産めない理由の再仮説：
 検証①のアンケート結果とRESAS分析結果より『**時間的理由**』が**原因**という仮説を立て直しました。
 子育て世代でよく耳にするのが、『**時間が無い**』という言葉。
 何に対して時間が無いのか、そこを解決していれば子育てに対するイメージが変わるのではないか。



WEBアンケートの実施

愛知県内で働く15歳未満の子どもを持つ親（主に愛知県の企業の社員、共働き）を対象に、
 検証①のアンケートで出た時間が不足している仮説を確認するために**WEBアンケートを実施**しました。

- ① 現状の時間の使い方について
- ② 時短できる子育て支援サービスの利用状況について

WEBアンケートの項目

※スノーボールサンプリングを実施し104名の方より回答を頂きました。

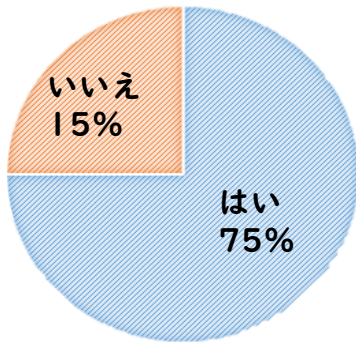
① アンケート項目	
1	性別、子供の人数、一番下のお子さんの年代
2	パートナーからは家事育児の協力を得られていますか？
3	両親からは家事育児の協力は得られていますか？
4	一週間あたりの労働時間は？
5	育児、通勤、睡眠、料理、その他家事にかかっている時間、自分の時間がどれほど取れているか。
6	子供との触れ合いの時間が不足して要ると感じますか？
7	もっと時短したい家事はなんですか？

② 各子育て支援サービスに関する質問 (利用有無、知ったきっかけ、感じたメリット、利用したことがない理由)	
8	家事代行サービスについて
9	食品宅配サービスについて
10	児童館について
11	放課後児童クラブについて
12	病児保育について
13	保育園一時預かりについて
14	行政のファミリーサポート事業について
15	どのようなサービスがあればよいか？

時間不足の問題

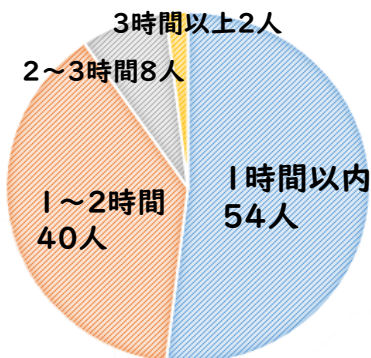
子供を持つ親は、**子供とのふれあいの時間も、自分の時間も足りていない**と感じている人が多いことが判明しました。

【子供とのふれあいの時間】が不足していると感じますか？



ふれあいが不足している人が多い

一日のうち【自分の時間】はどれくらいありますか？



自分の時間が少ない人が多い

【子供との触れ合い】

- ・もっとかまってあげたいけど、家事に追われしまう。
- ・上の子の送迎で下の子との時間があまり作れない。
- ・料理、掃除、洗濯、買い物でいっぱいいっぱい。



【生活が思い通りに進まない】

- ・自分のペースで生活が出来ない。
- ・計画的に行かない。
- ・とにかく時間がない。



子育ては時間がなくて忙しい・・・
大変そうなイメージ・・・
このマイナスイメージを払拭して・・・



子育てを3楽(楽しい、楽して、楽園)に感じられる

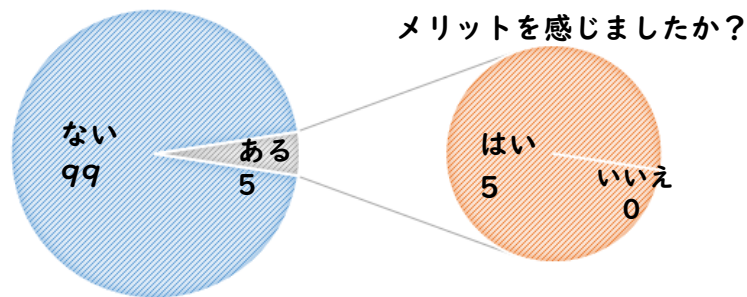
環境を実現したい！！



子育て支援サービス利用者の声

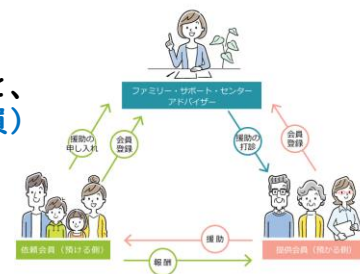
ファミリーサポート・放課後児童クラブ・家事代行サービスに関しては、**利用される方は非常に少ない結果**でしたが、**利用すれば100%メリットを感じられる結果**となりました。

行政の【ファミリーサポート事業】を利用したことがありますか？

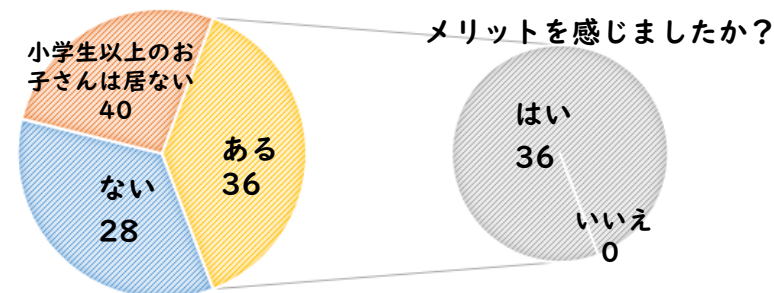


補足：【ファミリーサポート事業】とはどんな制度？

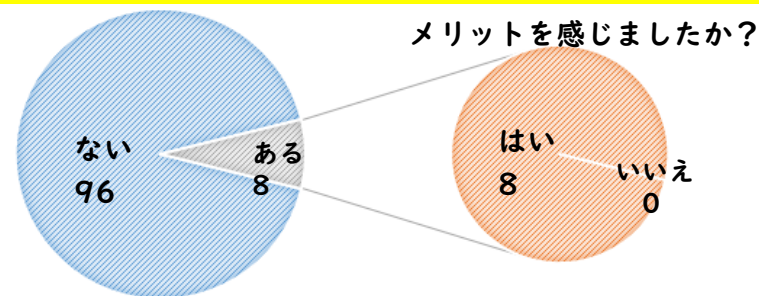
「ファミリーサポート」は、**子どもを見てもらいたい人（依頼会員）**と、**子どもを預かることができる人（提供会員）**を行政のアドバイザーが繋いで、子育てを助け合う仕組みです。



放課後児童クラブを利用したことがありますか？



家事代行サービスを利用したことがありますか？



【ここまでのまとめ】

当初、**出生率低下の要因**は「**経済的理由**」であると仮説を立てましたが、検証①のアンケート結果やRESASデータの分析より、**経済的理由ではなく「時間的理由」が要因である**とわかってきました。

「**時間的要因**」に関して、検証②のアンケートで調査しましたが、**多くの人が子供との時間や自分の時間が不足していると感じている中で、時短に効果的な子育て支援サービスを利用している人は少数でした。**

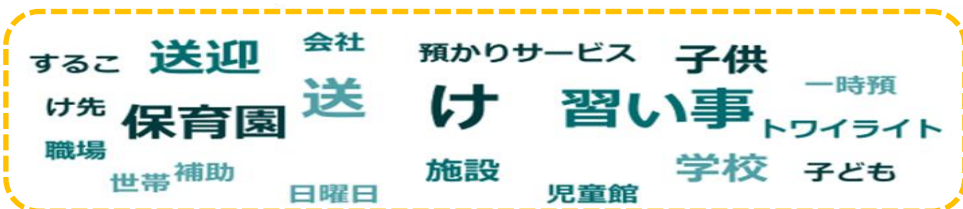
子育て支援サービス利用者の声

検証②アンケートの【どのようなサービスがあったら良いか?】という問いに多数の回答があったキーワードは

「習い事」「送迎」「預かりサービス」などでした。

一方、ファミリーサポート運営側の活動記録からは「習い事の援助（送迎含む）、保育園・幼稚園・学校への送迎、預かり」が活動の大部分を占めていることがわかりました。

① 子育てで求められるサービス



【Dグループとしての仮説】

①、②の結果から

ファミリーサポート

を推奨していけば時間にゆとりが生まれ、子育てがしやすい環境になるのでは?!

検証②アンケート結果からもファミリーサポートは、

利用すれば100%メリットを感じられる結果となっています。

② 刈谷市ファミリーサポート活動集計表

活動内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
保育所・幼稚園の登園前の預かり	299	54	10
保育所・幼稚園の送り	1,191	731	930
保育所・幼稚園の迎え	629	713	383
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	196	237	262
学童の放課後の預かり	1	2	4
放課後児童クラブの送り	34	28	20
放課後児童クラブの迎え	349	477	558
放課後児童クラブ終了後の預かり	55	27	15
子どもの病気の援助	4	18	22
子どもの習い事等の場合の援助	2,418	2,156	2,088
保育所・学校等休みの時の援助	36	81	41
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	264	223	206
保護者等の休職活動中の援助	0	1	6
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助	3	5	6
保護者等の外出の場合の援助	49	176	117
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	66	53	66
育児補助	155	290	195
保育園連絡システムの利用	0	0	0
学童の登校前の援助	3	0	3
他の子どもの用事の場合の援助	84	97	112
学校への送り	350	202	225
学校の迎え	2	0	1
学童の放課後の援助	59	80	102
学童の援助	13	1	1
病児ケアルーム送迎	0	0	2
その他	0	0	0
合計	6,260	5,652	5,375

出典：刈谷市子育て支援課へのフィールドワークにて調査

ファミリーサポートの課題は？

名古屋市子育て支援課、刈谷市子育て支援課にファミリーサポートの現状（成功例・課題点）を伺いました。
名古屋市、刈谷市ともに共通して挙げられた課題は**提供会員不足**で依頼会員から依頼があっても**マッチングに繋がらない**との事でした。
また、**利用率の低さ**や**認知度の低さ**も課題となっています。

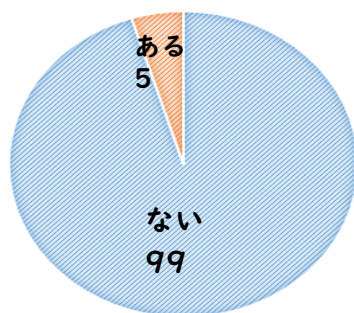
① 提供会員不足

出典：刈谷市子育て支援課へのフィールドワークにて調査

会員数											
会員種別	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	5年度
依頼会員	2,341	2,527	2,715	2,872	3,033	3,196	3,178	3,026	2,932	2,817	2,776
提供会員	269	279	308	328	344	360	356	341	348	277	252
両方会員	156	153	142	141	140	132	110	96	89	87	77
合計	2,766	2,959	3,165	3,341	3,517	3,688	3,644	3,463	3,369	3,181	3,105

※刈谷市のファミリーサポート会員集計表では、提供会員不足は一目瞭然の課題となっています。

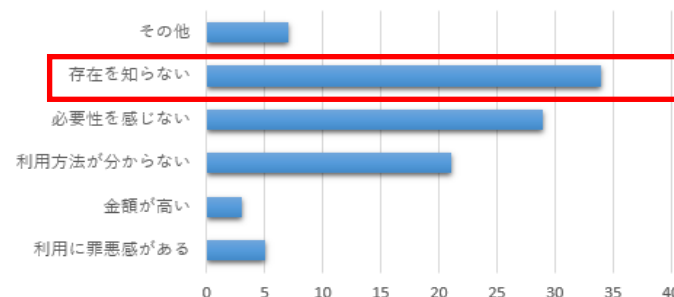
② 利用率が低い



※検証②のアンケート結果では
「利用したことがない」が99名。

僅か**4.8%の利用率**となっています。

③ 認知されていない



※検証②のアンケート結果では、利用したことがない人のうち「存在を知らない」が34名。

ファミリーサポートの課題は？

名古屋市と愛知県の子育て支援課に現状について質問したところ、**個人対個人の良さがある一方で、多くの課題があることが判明**しました。利用者の声をもとに、提言案を模索しました。

④ 利用者が感じる課題

【依頼会員目線】

- ・ 利用方法が分かりにくい。
- ・ 登録手続きが面倒。
- ・ 事前の申し込みが必要。
⇒ 急な依頼は、お願いしづらい。
- ・ 知らない人に子供を預けるのは心配。
- ・ 過剰に家庭に介入されるのは嫌。

【提供会員目線】

- ・ 1対1対応による精神的負担。
⇒ 急な体調不良で、お迎えに行けなくなったらどうしよう。
- ・ 子供への食事提供のハードルが高い。
⇒ アレルギーを持つ子供への対応。子供好みの味付けに苦心。
- ・ 子供への責任 > 報酬
⇒ 仕事に課せられる責任に対して、報酬が少ない。
(有償ボランティア)

【課題解決のキーワード】

・ 分かりやすく ・ 手軽に ・ 安心して ・ 会員同士の関係性 ・ みんなで ・ 得意分野で

ファミリーサポートは、子育て世代から求められている支援を提供する素晴らしい制度です。

しかし、①から③の課題により、その良さが十分に活かされていないのが現状です。

また、④の観点からも改善が必要な点もあります。

このため、現行のファミリーサポートを **“新時代” にあったアップデートする必要**があると考えます。

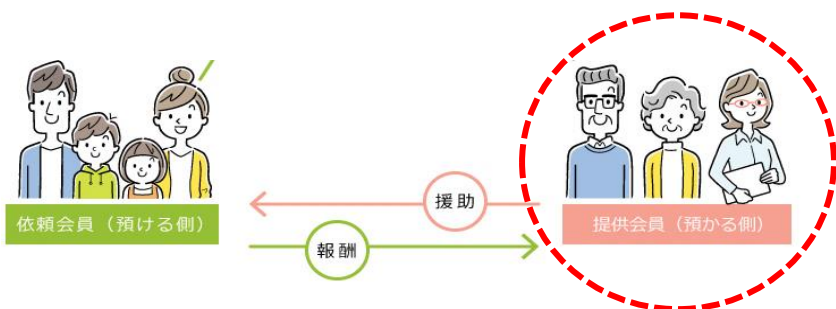
→ そこで、Dチームは次の提言を行います。

現状・課題から見た提案内容

一番の課題である提供会員不足の状況から

企業にファミリーサポートの提供会員として活動してもらいます！

ファミリーサポート事業



企業版ファミリーサポートでこんな事が実現可能！！

① 空きスペースを活用しての託児



② 飲食店での食事提供



③ ディーラーの試乗車で送迎





企業版ファミリーサポート登録の【依頼会員】への効果

個人対個人に加え、企業がファミリーサポートに**参加した場合の依頼会員への効果**を検証しました。
現状のファミリーサポートにおける**課題解決の道筋**が見え、子育てに対するイメージも大きく変わります！

①企業がファミリーサポートに参加することにより、提供会員が増え、依頼会員との提供会員のマッチングが進みます。これにより**手軽に**利用することが可能になります。

②企業が参加することで、従来は行政のみが行っていたPRを企業も担うようになり認知度が向上します。その結果、利用方法も**周知され分かりやすくなります**。

③企業版が導入されることで、個人対個人であった**会員同士の関係性の煩わしさが解消**され、利用の幅がさらに広がります。

効果①
提供会員の増加

効果②
認知度の向上

効果③
利用率の向上

効果④
安心のサポート

効果⑤
負担軽減
(子育ての3楽)

⑤ファミリーサポートが利用しやすくなることで、負担になっている家事が軽減され、**時間にゆとり**が生まれます。
子育ての3楽（楽しく、楽に、楽園）に感じられる環境に！

④依頼先が企業であるという安心感が生まれ、個人間のため利用を躊躇していた人でも**安心して**利用できるようになります。
各企業の**得意分野**でのサポートも可能となり、個人の提供会員の**精神的な負担も軽減**され、**個人・企業みんなで**子育てをサポートできます。



企業版ファミリーサポートに対する【子育て世代】の反応

企業版ファミリーサポートに関する子育て世代の声を集めました。

検証①でアンケートを実施したメンバーに再度『企業版ファミリーサポートが実現できたら』について聞き取りを実施し、今後の展望について話し合いました。

① 企業版ファミリーサポートを使ってみたいですか？

- ・ **企業＝安心**のイメージだから今よりも**気軽に使える**と思う。
- ・ 個人より**企業の方が仕組みが整って****いそう**で安心して使えそう。個人より使ってみたい。
- ・ **ぜひ、使ってみたい！**

② 利用することで、今より「安心して」「楽に」子育て出来ると思いますか？

- ・ 個人ファミサポより企業ファミサポの方が、**急な依頼でも対応してくれそう**。
- ・ 他の子供達とも関わらせてあげられそう。
- ・ 普段、**送迎出来ない平日に習い事を入れられる**から、習い事の幅が広がってとても魅力的だと思う。

③ 企業版ファミリーサポートへの不安や疑問はありますか？

- ・ **企業へもタイムリーに連絡が取れるのか？**
営業時間外は連絡がとれない？
- ・ 『今ここを出ました』『送迎先に着きました』などの連絡があるとより安心して使えそう。
- ・ **一般提供会員にはお願いしづらいことも、お願いしやすい。**

企業版ファミリーサポートを使ってみたいという声が多数。

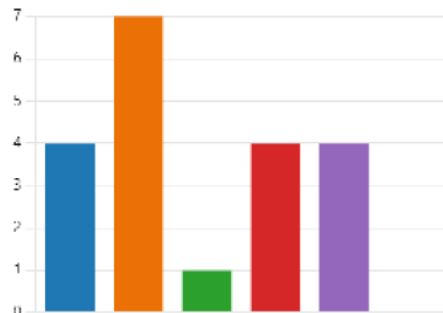
期待値大！

企業版ファミリーサポートに対する【企業】の反応

企業へアンケートを実施し、企業版ファミリーサポートの実現可能性や企業の関心を調査しました。
また、企業が現状抱えている問題についても意見を収集しました。

【ファミリーサポート事業】に参加できますか？できる場合、こういった活動ができますか？

● 子供の送迎	4
● 子供の一時預かり	7
● 子供への食事提供	1
● 子供を預かる場所の提供	4
● 子供の病気時の援助	4
● 興味はない	0

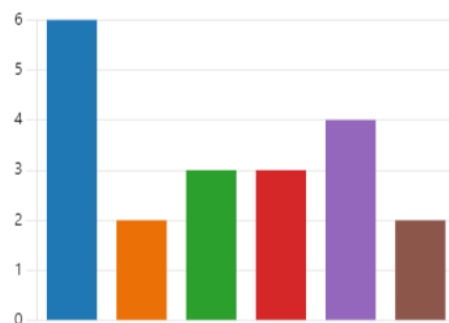


【ファミリーサポート事業への参加について】

✓企業はファミリーサポート事業に**関心が高い**。（興味はないの回答はゼロ）
✓ファミリーサポートでニーズの高い活動（子供の送迎・預かり等）に**参加可能な企業が多い**。

現在抱えている解決しきれない問題がありますか？問題がある場合、こういった問題ですか？

● 企業イメージのアップ	6
● 再雇用シニアの仕事創出	2
● 人材確保（子供のうちから貴社に...）	3
● 子育て世代と繋がることによるマーケ...	3
● 就活生へのアピール（子育てに協力...）	4
● その他	2



【企業が抱える解決しきれない問題】

- ・企業のイメージアップ。
- ・再雇用シニアの仕事の創出。
- ・人材確保。
- ・子育て世代へのマーケット拡大。
- ・就活生へのアピール。



その問題！ファミリーサポート事業で解決できます！！

企業版ファミリーサポート登録の【企業】への効果

個人対個人の既存のファミリーサポート事業に加え、企業がファミリーサポートに**参加した場合の効果**を検証しました。
企業が登録することで**現状・課題解決の道筋**が見え、子育てに対するイメージも大きく変わります！

①企業がファミリーサポートに参加することで、**子育てしやすい環境づくりに貢献**することができます。また、**企業で子育て中の従業員の育児支援**にもなります。

②子育てに協力的な企業として
イメージアップ！
「くるみん」や「名古屋市子育て支援
企業」の認定項目に「ファミリーサ
ポート事業への参加」が追加されれば、
子育て支援認定企業としての認定され、
「認容マーク」も使用可能に。



③「子育て支援に積極的な会社に就職したい！」
という**就活生へのアピール**にも繋がります。
また、将来的にファミリーサポートで**お世話した
お子さんが就職**を考えると、就職先候補とし
てくれる可能性も！

効果①
子育て環境
への貢献

効果②
企業の
イメージ
アップ

効果③
人材の確保

効果④
再雇用シニア
の
仕事創出

効果⑤
マーケットの
拡大

⑤**子育て世代と繋がり、信頼を得ることで
マーケットの拡大**も可能です。
企業の商品やサービスに興味を持つ新しい
顧客が増え、**企業の売上UP**も期待できます。

④**子育て経験が豊富なシニア世代**は、提供会員
に最適です！力仕事が多い場合でも、送迎や
見守りなどで活躍できます。さらに、退職後も
個人として提供会員として活動が続けることが
可能です。

先行事例：刈谷市/町ぐるみの子育てへの取り組み

AISINの取組み事例

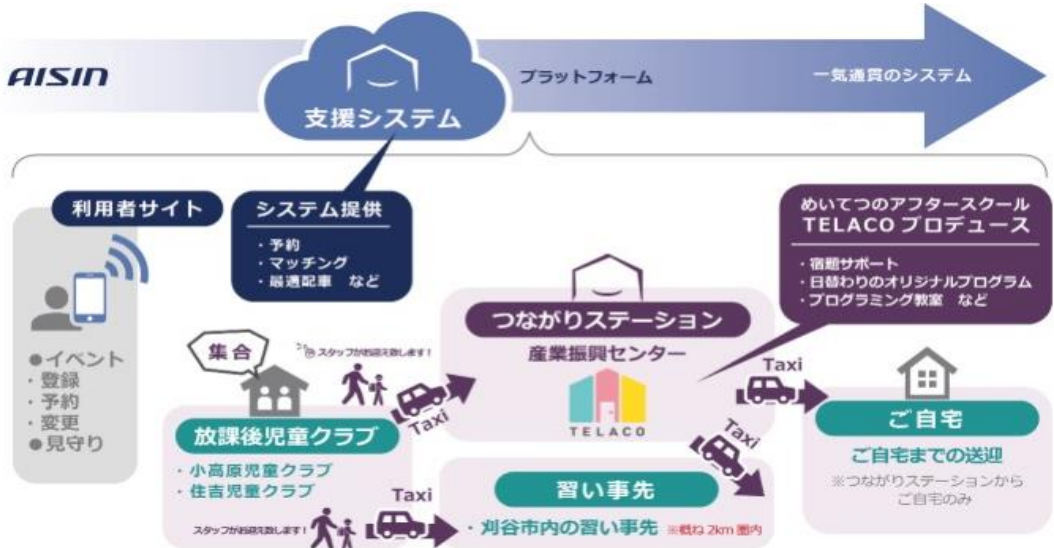
交通と教育をつなぐ「刈谷放課後子育てMaaSプロジェクト」

目的

送迎が負担となり希望する習い事に通わせてあげられない、などの子育ての悩みや、子どもの放課後をより充実させたい、という教育ニーズに対応すること

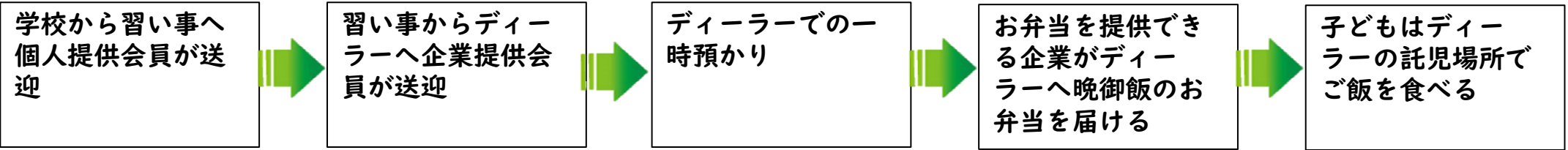
方法

小学校、つながりステーション、習い事先、自宅を相乗りタクシーでつなぎ、カーナビ技術を応用することで最適な乗り合わせと経路を割り出して子供を送り届けます。つながりステーションでは、独自の教育プログラムを提供するとともに習い事の時間まで子供が待機する居場所としても利用でき、保護者は交通サービスと教育プログラムを一元的に見える化した専用システムから予約することが出来る。



今後のファミリーサポート展開イメージ

個人提供会員と企業提供会員をあわせたハイブリッドな利用方法



地域みんなで育てる。町ぐるみの子育て 🌈

企業版ファミリーサポートの不安要素の解消

一方で、企業に対して企業版ファミリーサポートに関する不安要素も確認しました。
しかし、これらの多くは**既存のファミリーサポート制度の仕組みをうまく活用し、行政の協力を得る**ことで解決可能です。

不安要素		解決策
① 安全面（安全の確保ができるか）	➡	① 個人講習会の実施 行政による安全チェック体制
② 子どもの心情（安心の確保ができるか）	➡	② 初回の事前面談の実施 企業×企業、個人×企業での連携の紹介
③ 責任の明確化	➡	③ 保険適用 充実したオペレーション対応
④ 人材確保（社内の提供会員の担い手）	➡	④ ファミリーサポート制度説明会の実施 やりがい創出やエンゲージメント向上

＜子育て世代からのその他要望＞

- ・企業への依頼も、LINEのようなタイムリーな連絡手段が欲しい。
 - ・送迎時に子供の現在地が分かる安心できる仕組み（車内映像提供など）。
- これらを実現するためには、デジタル活用と個人情報に関する対策も必要となります。

実現に向けた官民一体での推進

企業版ファミリーサポートの実現に向けて、行政に提案したいこと・民間企業も一緒にできることを考えてみました。

行政に提案したいこと

- ✓ 企業が提供会員を行う上で、より安全な環境整備づくりのため、安全項目のチェックリストを作成する。
- ✓ 提供会員となる企業へ行政担当者にて訪問し、安全チェック行う。
- ✓ ファミリーサポートへ登録した企業へインセンティブを与える。



民間企業ができること

- ✓ 提供会員登録のための個人講習会や個人面談を行うための場を提供する。
- ✓ 保険会社なども絡めて、ファミリーサポート事業を実施した場合の事故リスクなどを未然に予測し、注意喚起を行う。
- ✓ 子供を預かる際に起こりうるリスクに備えた保険を販売することでより安心をサポート。

まずは検討会から始めてみましょう！
官民一体で企業版ファミリーサポートを実現させましょう！



企業版ファミリーサポートで
3楽（楽しく・楽しんで・樂園に）子育てを実現させよう！！



ご清聴ありがとうございました